

1

①から④の意味のことわざを、

から選び、

に書きましょう。

① つらくてもしんぼうして続ければ、成功する。

石の上にも三年

② 人生では、成功も失敗もある。失敗してもあきらめずに努力せよ。

七転び八起き

③ 原因をつくらなければ、結果は生じない。

まかぬ種は生えぬ

④ あわてず、確実な方法をとるほうがよい。

急がば回れ

負けるが勝ち

まかぬ種は生えぬ

七転び八起き

石の上にも三年

急がば回れ

つめに火をともし

2

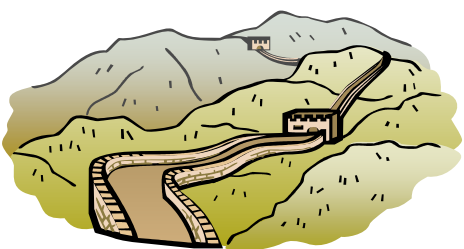
()の中に漢数字を書き入れて、ことわざを完成しましょう。

① (千) 里の道も (一) 歩より

② (一) 寸の虫にも (五) 分の魂

③ (百) 聞は (一) 見にしかず

④ (二) 兎追う者は、(一) 兎も得ず



3

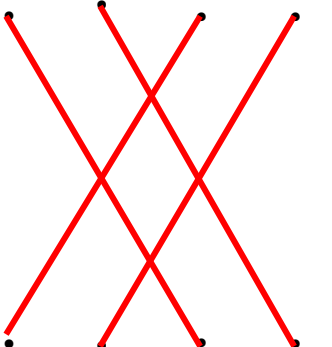
①から④までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 弘法にも筆の誤り

② 石橋をたたいて渡る

③ すずめ百まで踊り忘れず

④ のれんに腕押し



A 三つ子の魂 百まで

B ぬかにくぎ

C さるも木から落ちる

D 念には念を入れよ

1 ことわざの意味を理解しましょう。

① 石の上にも三年……つらくてもしんぼうして続ければ、成功する
・三年すれば石も暖まることから、しんぼうして続ければ成功するという意味を表した。

② 七転び八起き……人生では、成功も失敗もある。失敗してもあきらめずに努力せよ。
・七度転んでも、八度起き上がることから、あきらめないことの大切さを教えている。

③ まかぬ種は生えぬ……原因をつくらなければ、結果は生じない。
・種をまかなければ何も生えないことから、何もしなければよい結果は生まれないという意味を表している。

④ 急がば回れ……あわてず、確実な方法をとるほうがよい。
・危ない近道よりも、安全な道を回る方がかえって確実に着くことから、急いでいるときこそ、確実な方法をとるほうがよいことを表している。

2 漢数字を使ったことわざに親しみましょう。

① 千里の道も一歩より
・遠い道も一歩から始まる。小さな一歩を積み重ねよう。

② 一寸の虫にも五分の魂
・どんなに小さく弱い者も、あなどってはいけない。

③ 百聞は一見にしかず
・話を何度聞くよりも、自分の目で見た方が分かる。

④ 二兎追う者は、一兎も得ず
・同時に二つを得ようとしても、結局できない。

3 ことわざの意味を考え、同じような意味をもつことわざを見つけてみましょう。

① 「弘法にも筆の誤り」と「さるも木から落ちる」

・どんなに上手でも、ときには失敗することがある。

② 「石橋をたたいてわたる」と「念には念を入れよ」

・用心した上にさらに用心せよ。

③ 「すずめ百まで踊り忘れず」と「三つ子の魂百まで」

・小さいころから身につけた性質は、改めにくい。

④ 「のれんに腕押し」と「ぬかにくぎ」

・努力しても、手ごたえがない。

ことわざは、短い表現ですが、味わい深いものがあります。
意味がよく分からなかったことわざについては、ことわざ辞典で調べ、確かめてみましょう。



※ 漢数字を使ったことわざは、他にもたくさんあります。調べてみましょう。

仏の顔も三度
いちじ ぼんじ
一事が万事
いっし ばんじ
一矢報いる
いっし むく

※ 同じような意味を持つことわざが他にもないか調べてみましょう。

虻蜂取らず
あぶはち



二兎追う者は、一兎も得ず
ふたうとを追う者は、ひととちも得ず

1

①から④の意味のことわざを、から選び、に書きましょう。

① よいと思ったことは、ためらうことなく実行すべきという意味。

善は急げ

② すらすらと話すことのたとえ。

立て板に水

③ 遠回しすぎて、思うようにならないことのたとえ。

二階から目薬

④ 役に立つ物を持っているのに、しまいこんで使わないことのたとえ。

宝の持ちぐされ

急がば回れ

二階から目薬

立て板に水

石の上にも三年

善は急げ

宝の持ちぐされ

2

線を引いた言葉の対になる言葉を から選び、() の中に書き入れて、ことわざを

① 多勢に (無勢) (相手が多数なのに対して少数なので、勝ち目がないこと)

② 負けるが (勝ち) (しいて争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ)

③ 急がば (回れ) (急ぐときは、危ない近道を通るよりも、遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は、早く到着すること)

④ 公然の (ひみつ) (かくしているはずが、広く世間に知れ渡ってしまっていること)

ひみつ 少勢 勝ち 無勢 注意 回れ

3

①から⑤までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 虻蜂とらず

② 鬼に金棒

③ 泣きつ面に蜂

④ 柳に雪折れなし

A 弱り目にたたり目

B 柔よく剛を制す

C 虎に翼

D 二兎追う者は、一兎も得ず



① ことわざの意味を理解しましょう。

- ① **善は急げ**……よいと思つたことは、ためらうことなく実行した方がよいこと。
・よいと思つたことは、すぐに実行すべきだという意味。
同じような意味のことわざに、「思い立ったが吉日」がある。

② **立て板に水**……すらすらと話すことのたとえ。

- ・立てた板に水を流すと速く流れることから、すらすらと話すことにたとえた。

③ **二階から目薬**……遠回しすぎて、思うようにならないことのたとえ。

- ・二階から目薬をさすことはむずかしいことから、思うようにならないことをたとえた。

- ④ **宝の持ちぐされ**……役に立つ物をもっているのに、しまいこんで使わないこと。
・せっかくよいものをもっているのに、役立てないことをたとえた。

② ことわざの意味を考え、ことわざを完成させましょう。

① **多勢に無勢**

- ・相手が多数なのに対して少人数なので、勝ち目がないこと。

「無勢」は「人数の少ないこと」という意味。

② **負けるが勝ち**

- ・して争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ。

同じような意味をもつことわざに「逃げるが勝ち」「負けて勝つ」「負けるは勝ち」がある。

③ **急がば回れ**

- ・遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は早いということ。

同じような意味をもつことわざに「近道は遠道」「急(せ)いては事をし損じる」がある。

④ **公然の秘密**

- ・かくしているつもりが、広く世間に知れ渡ってしまったということ。

③ ことわざの意味を考え、同じような意味をもつことわざを見つけてみましょう。

① **「虻蜂とらず」と「二兎追う者は、一兎も得ず」**

- ・同時に二つを得ようとしても、結局できないことのたとえ。

② **「鬼に金棒」と「虎に翼」**

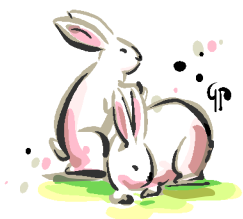
- ・強い者に、さらに強さを加えることのたとえ。

③ **「泣きつ面に蜂」と「弱り目にたたり目」**

- ・ついでにないことが重なることのたとえ。

④ **「柳に雪折れなし」と「柔よく剛を制す」**

- ・やわらかくしなやかなものが、かえって強いものをおさえること。



☆慣用句はその字が持つ本来の意味とは違った、特別の意味を表すものです。意味を知り、日記を書くときやスピーチをするときなど、進んで使ってみましょうね。



慣用句には体の部分を使ったものが、数多くあります。次の□の中にあてはまる字を書き入れましょう。

① **口** が軽い

*言ってはいけないことを言ってしまうこと

② **目** から火が出る

*頭を強くぶつけたときなどに受ける感覚のこと

③ **胸** をなでおろす

*安心しほっとするようす。

④ **足** がぼうになる

*歩き続けたりして、足がひどくつかれること

⑤ **肩** の荷がおりる

*責任を果たして楽な気分になること

⑥ **頭** が切れる

*頭の回転が速く、てきぱきと事を行うこと

⑦ **首** をつつこむ

*仲間に加わったり、その事に関係すること

目 口 肩 (かた) 頭 首 足 手 耳 胸 (むね)

手

手が空く

手がとどく

手に負えない

手を打つ

手に汗にぎる

手が出ない

手にあまる

手につかない

手をかえす

足

足が出る

足を洗う

足を運ぶ

足に任せる

足をすくう

足を引っばる

肩

肩をいからす

肩をすくめる

肩をならべる

肩をかす

肩をすぼめる

肩を持つ

胸

胸が痛む

胸がつかえる

胸を打つ

胸がおどる

胸におさめる

胸をこがす

腹

腹が黒い

腹が立つ

腹がすわる

腹を決める

腰

腰がある

腰を落ち着ける

腰をぬかす 腰を落ち着ける

腰が重い

腰をすえる

体の部分を使った慣用句はまだまだあるよ。どれくらい分かるかな。(体へん)



【1】①～⑤の慣用句はどんな意味でしょう。()
の中に記号を書きましよう。

①	うり二つ (ウ)	ア 仕事の中などで、むだ話を してなまけること
②	馬が合う (イ)	イ お互いの性格や話が合うこと
③	顔が広い (エ)	ウ 顔かたちが見分けのつかない ほどよくにていること
④	油を売る (ア)	エ 知り合いが多いこと
⑤	息をのむ (オ)	オ おどろいて、息を止めること

【2】次の文に前の問題の慣用句をあてはめます。

【1】の①～⑤の番号を () に書きましよう。
会えばケンカばかりのぼくとケンちゃんだけ
ど、ゲームのことでは (2)。

富士山の頂上から見た景色は、(5) ほど美し
かった。

うちのおばあちゃんとお母さんは (1) で、口
ぐせも同じだ。

【3】次の () に数字が入り、慣用句として使わ
れます。あてはまる漢数字を書きましよう。

◆ (一) か (八) か

* 運を天にまかせて思い切ってやるときに使う言葉

◆ (百) も承知

* 言われるまでもなく分かっているときに使う言葉

◆ (三) びようしそろった

* すべての条件がそろったこと

◆ (一) 巻の終わり

* 物事の決着がついて、もう終わりになってしまったこと

【1】慣用句にはその成り立ちから意味が出
来上がっています。どんな成り立ちか見てみ
ましよう。

うり二つ

うりをたて二つに割ると、二つのうりが全く同
じ形をしていることから

馬が合う

馬とその乗り手の呼吸がぴったりあうという
意味から

顔が広い

多くの人に顔を知られていたり、知っていたり
することから

油を売る

江戸時代、油売りが客の器に油を移すのに時
間がかかったことから

息をのむ

びっくりしたり、感動したりして呼吸を止めて
しまうことから

【2】このような問題は、文の流れをつかま
ないと間違えてしまいますね。慣用句はそ
のものの意味をしっかりとらえて答えま
しようね。

【3】意味を考えながら答える必要がある問
題でしたが、その成り立ちも調べてみると
いいですね。

やってみよう

【3】にある慣用句を使って短文を作っ
てみよう。